

図書館からのお知らせ

*ご自宅から予約や延長ができます。新型コロナウイルス感染拡大のため、入館できない期間が1ヶ月以上。ご不便をおかけしています。そんな時でも図書館を便利に使う方法をご紹介します。

そのためにパスワードを設定してみませんか？

- 1. キーワードに「山形村図書館」をいれ検索。ホームページを開く。
2. 「蔵書検索」を選ぶ
3. メインメニューから「新規パスワード登録」を選ぶ
4. 貸出カードの番号、氏名、生年月日、電話番号を入力してログイン
5. パスワードとメールアドレスを入力して登録。



蔵書検索はこちら

図書館でも登録のお手伝いをしています。お声がけください。

山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.56 編集=山形村図書館

特集 いつもありがとう 図書館ボランティア

山形村図書館は心強いボランティア集団に支えられています。今号は、夏・冬のスペシャルなおはなし会やナイトライブラリーでお世話になっているボランティアさんに自己紹介をお願いしました。

①クレヨンママ パネルシアターが絶品

平成10年に結成以来、子育て中の母親を中心に11名のメンバーで和気あいあいと活動しています。図書館では毎年、クリスマスおたのしみ会に出演しています。他にも保育園のお誕生日会や文化祭、山形村社協の『福祉の集い』などで公演を行っており、地域の方たちとのふれあいを楽しんでいます。

クレヨンママの面白さ(魅力)は、何ととってもパネルシアター。原作の世界観を読み込みながら、登場人物の動きやセリフの練習を重ね、皆で息を合わせて演じるのは達成感があります。何よりも子どもたちの喜ぶ反応にいつもパワーをもらっています！(岡上)



②おはなしの会 夜の図書館が素敵な雰囲気

こちらを見て、耳を傾けてくれる皆さんとの一瞬の緊張感が好きです。「おはなしの会」は山形村に30年ほど前に発足しました。毎年秋に図書館でナイトライブラリーを開催し、大勢の方に来ていただいています。今年度は10周年の図書館まつりにも参加しました。



児童館での語り、紙芝居、絵本

③てぶくろ 人形劇に子どもの目がキラリ

私たちは、何度もメンバーが入れ替わりながら、20年以上も活動が続いています。今年度は新しい仲間を迎えることができ、多くのキャラクターが登場する「おばけ森のこわがりお化け」という大作を演じることができました。図書館では恒例の夏のおたのしみ会、10周年まつりに出演しました。



普段は、おしゃべりを楽しみながら、参加できる人で無理なく練習しています。公演では、子どもたちの歓声と笑顔にやりがいを感じています。(澤野)

3団体とも20年、30年続く息の長い団体です。

図書館だけでなく、地域のさまざまな場で活躍されています。いつでも仲間を募集中！一緒に楽しみませんか？

お問い合わせは、図書館 (☎0263-98-3155)まで。

BOOK 56 新着本

おすすめ新着本紹介 『あめがでけるまで』

宮崎祥子 (岩崎書店)



身近な食べ物がどうやってできるのか、材料からの変化の過程を写真と楽しい言葉で追っていくシリーズの20冊目。よく知っている松本の3軒の飴屋さんが登場します。『チューリップ』

荒井真紀 (小学館)



チューリップは冷たい冬を土の中で過ごし、春、芽をだします。春が待ち遠しいこの時期に、表紙のあざやかな赤や黄色の花が目を引きます。

『柚木沙弥郎』別冊太陽 (平凡社)



東京国立近代美術館で民藝の100年展が開催されています。2021年は民藝に注目が集まり、関連の本がたくさん出ました。柚木さんの型染めは開運堂やちきりやのパッケージでおなじみです。

『お味噌汁の』

土井善晴 土井光 (平凡社)



何を作れば良いか分からない人、どうすれば自分の食生活を見直せるか分からない人は、まず味噌汁をつくってみませんか？という提言です。味噌汁は万能の健康食です。